

京都市芸術新人賞・京都市芸術振興賞選考委員会規則を公布する。

平成25年11月15日

京都市長 門川大作

京都市規則第80号

京都市芸術新人賞・京都市芸術振興賞選考委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、京都市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第8条の規定に基づき、京都市芸術新人賞・京都市芸術振興賞選考委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長)

第2条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(招集及び議事)

第3条 委員会は、委員長が招集する。ただし、委員長及びその職務を代理する者が在任しないときの委員会は、市長が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 4 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、意見の陳述、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(委員の除斥)

第4条 委員は、自己又はその配偶者若しくは3親等内の親族その他当該委員と密接な関係を有する者に関する事項については、その議事に加わることはできない。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、文化市民局において行う。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定め

る。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 第2条第2項の規定にかかわらず、この規則の施行の際現に従前の委員会に相当する合議体の委員長である者は、この規則の施行の日に委員会の委員長として定められたものとみなす。

(文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課)